

健康安全・兵庫

『守・破・離』

■ 武道の教えに「守・破・離」(しゅ(す)・は(り)・り)という言葉があります。

「守」は、教えを遵守し、修行し、それをしっかりと身につけること。

「破」は、教えられしっかり身につけたことを自らの特性に合うように修行し、自らの境地を見つけ、これを破る工夫を凝らすこと。

「離」は、これらに一切こだわることなく優れた新しいもの、独自の道を創造すること。を意味しているのですが・・・

「破」や「離」はおろか「守」を極めることすら難しく、武道家は少しでもそれに近づこうと常に努力を重ねているわけです。

■ この教えは武道だけのみではなく「しっかき基本の上に立った創意工夫」という言葉に置き換えれば、我が職場にも十分に通じる教えと言えます。

■ 「日常の業務の進め方」「効率的な業務運営」「各種安全活動」などなど、ややもすると、マンネリ化し、形式的になりかねません。

基本的なことを十分に身につけ、その上で、更に優れた良いものを目指し、改善を行うよう心がければ、マンネリ化等は防げるはずですよ。

■ 一般会計となった我が職場にあつては、これまで以上に国有林の存在意義を高めていく努力とフィールドや人材を活用した森林・林業の発展に寄与していくことが一層求められています。そのような状況であればあるほど、職員一人ひとりが常に向上心と好奇

心を持って、それぞれの持ち場・立場で「創意工夫」を凝らすことが必要となっています。

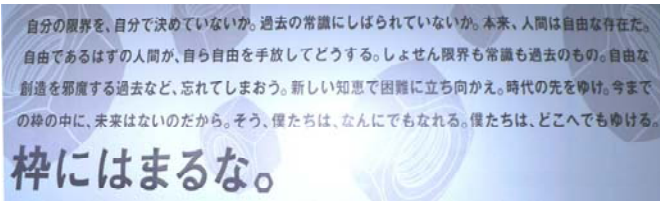


■ こと安全については、これらのことを進めていくための重要な取り組みの一つです。全職員が一丸となって、より一層の「創意工夫」に取り組み、「めざせ0災害職場」「明るい職場・親しまれる国有林」を念頭に、今年のスタートにあたり、心新たに皆で力を合わせて頑張ってくださいよう！

枠にはまるな。

■ 昨年の暮れに、大阪モーターショーに行ってきました。ある自動車メーカーのブースには、今回のスローガンが、大きく「枠にはまるな。」の文字が・・・確かに、文字も枠をはみ出しています。

『自分の限界を、自分で決めていないか。過去の常識にしばられていないか。本来、人間は自由な存在だ。自由であるはずの人間が、自ら自由を手放してどうする。しよせん限界も常識も過去のもの。自由な創造を邪魔する過去など、忘れてしまおう。新しい知恵で困難に立ち向かえ。時代の先をゆけ。今までの枠の中に、未来はないのだから。そう、僕たちは、なんにでもなれる。僕たちは、どこへでもゆける。枠にはまるな。』



■ いかにもそのメーカーらしい、人間味溢れたスローガンですね。(特別な思いからか?)

創業者の言葉にどれくらい基づいているのはわかりませんが、そのメーカーのCMやキャッチコピーは、いつも人の心をつかみます。

■ 企業のイメージはこういふところから作られるだろうし、そういうキャッチコピーの会社で働いていると思えば、社員たちにもそういう精神・情熱等が芽生えることになるのではないのでしょうか。そうやって企業が目標を定めて社員の士気を高めているのかもしれない。(次長)

インフルエンザに備えよう

◆ 年明けからがピーク
インフルエンザの流行は通常、12月初め頃に始まり、翌年の1〜3月にピークを迎えます。これまで周期的に流行を起こしてきたタイプは、季節性インフルエンザと呼ばれ、A型、B型、C型の三つに分けられますが、人で流行を起こすのは主にA型、B型です。

- ◆ インフルエンザ対策の基本
- ① 季節性インフルエンザワクチンの接種
- ② 咳エチケットを守る
- ③ 咳症状がある人は必ずマスクを付ける
- ④ 不必要な外出や人が多く集まる場所に行くのを控える
- ⑤ 外出から戻ったら、うがいと手洗を励行する
- ⑥ バランスの良い食事、休養、睡眠を十分取る

心新たに健康安全

心新たに新鮮な気持ちで輝く新年をお迎えのことと思います。一人ひとりが、初心に返り、今年も災害のない職場を目指して、お互い声を掛けあい頑張りましょう。



発行 兵庫森林管理署 健康安全協議会